

令和8年 死亡災害ゼロ・アンダー530津

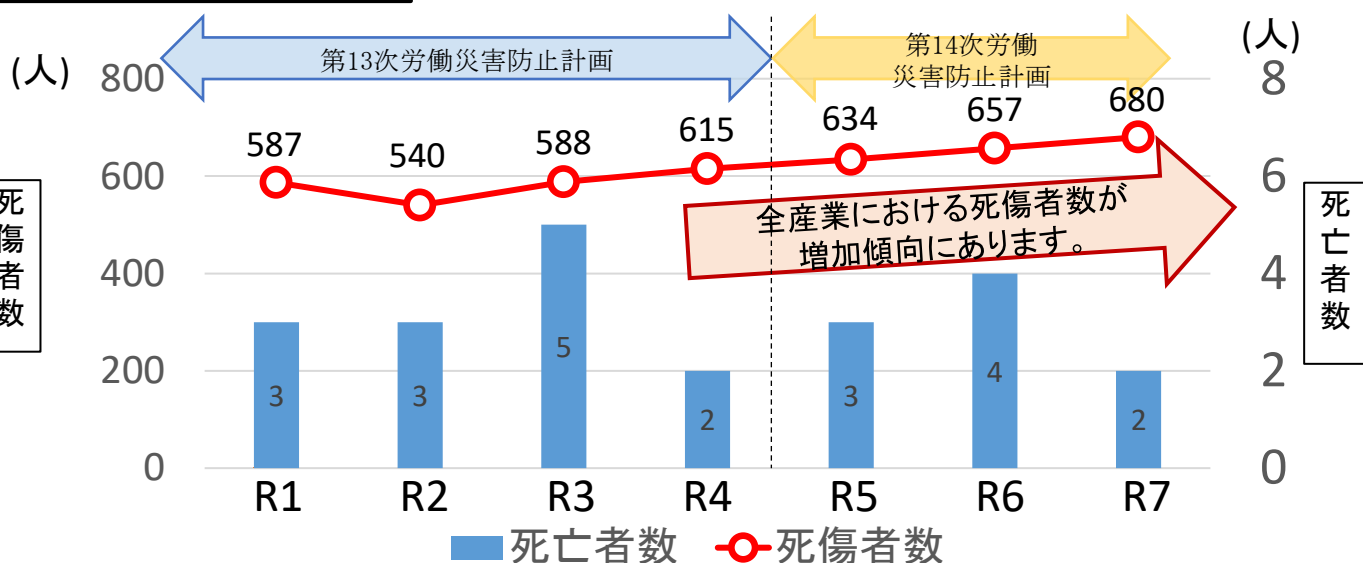
～令和9年までに死傷者数 530人未満を目指して～

津労働基準監督署



津労働基準監督署(津市・鈴鹿市・亀山市地域)では、三重労働局で第14次労働災害防止計画(R5年からR9年まで)において推進する「アンダー2,000みえ推進運動」(死亡災害撲滅 死傷者数2,000人未満)と併せ、労働災害発生の傾向を踏まえて重点対象を定め、「死亡災害ゼロ」「死傷者数530人未満」を目指します。

経年別労働災害発生状況



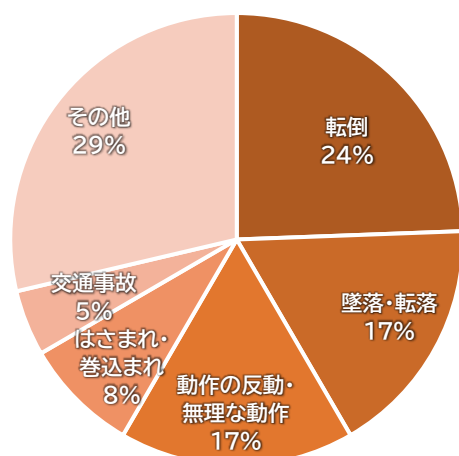
※資料 労働者死傷病報告 (休業4日以上)

※新型コロナウイルス感染症によるり患者を除く

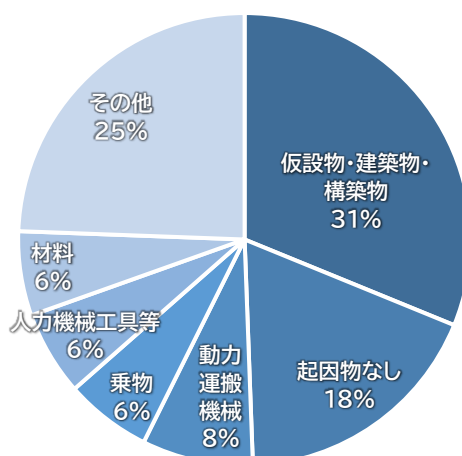
(R2年20人、R3年168人(内死亡1人)、R4年448人、R5年60人、R6年31人、R7年16人)

R7年 休業4日以上の死傷災害発生状況

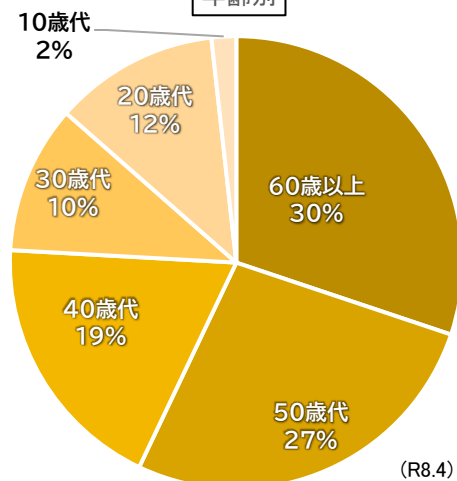
事故の型・多発5型



起因物別・多発5型



年齢別



(R8.4)

令和8年 死亡災害ゼロ・アンダー530津 重点事項



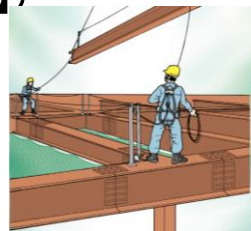
● 転倒・腰痛などの行動災害防止(重点業種:【小売り・社会福祉施設業】)

- 作業床及び作業通路における凸凹等の解消
- 3S(整理・整頓・清掃)の励行
- 滑りにくい靴を選択・危険個所には「見える化」で注意喚起
【あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて】
- 前屈・捻り姿勢で荷を持たない、不自然な姿勢を取らない
- ストレッチ・適度な運動等の取組、重量物は台車など利用
- アシストスーツ、スライディングボード等の活用



● 墜落・転落災害防止(重点業種:【建設業】【道路貨物運送業】)

- 足場・作業床・開口部・階段等には手すり等の設置
- 墜落制止用器具の着用・使用
- 脚立・はしごは安定した場所への設置
- トラック荷台上での作業スペースの確保・墜落防止措置



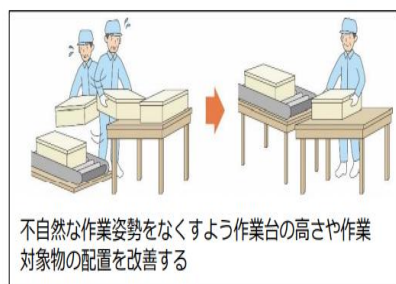
● 機械設備・資材取扱に係る災害防止(重点業種:【製造業】)

- 機械設備の本質安全化
- 安全カバーの設置・安全装置の有効化
- 作業手順の作成・改善・励行
- リスクアセスメント実施とリスク低減措置
- 刃部・駆動部への覆い設置等による切創・巻込まれ・はさまれ防止措置



● 高年齢労働者災害防止

- 照度の確保・段差の解消
- 身体機能を補う設備・装置の導入
- 身体機能の低下を考慮をした作業方法の見直し
- 丁寧な安全衛生教育の実施
- エイジフレンドリーガイドラインの取組



● 交通事故を含む車両系災害防止

- 交通ルールへの遵守
- 交通労働災害防止のためのガイドライン
- 作業計画の作成と関係労働者への周知
- 接触防止措置の徹底
- 用途外使用の禁止



用途外使用の禁止

